



運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和元年8月号 第198号

(令和元年8月31日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール tou-asu@netjoy.ne.jp

◆今後の事業日程

9月 2日(月)	都生連 役員会・運営委員会	協会事務所 12:30～
9月 4日(水)	都生会連 役員会	協会事務所 14:00～
10月 2日(水)	都生会連 まちづくり運動の集い	東村山市サンパルネ 14:00～(通知文参照)
10月18日(金)	都生連 対話集会	都消費生活総合センター 13:30～(後日通知)



おじゃまします 事務局です<112>



◆国分寺高木町(自治会)生活会議



「高木町まちづくり宣言」看板



張堂会長 櫻井前会長



ブロック塀を生垣に改修した箇所

国立駅で路線バスに乗り数分も走ると、**高木町まちづくり宣言**の看板が目飛び込んできた。訪問に際して、丁寧な道案内をいただいたが、この看板一つで立ちどころに居場所が判明するほどインパクトがある。ここが、平成29年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、また、平成8年にも「ふるさとづくり大賞(内閣総理大臣表彰)」をも受賞している高木町自治会を擁する国分寺市高木町である。

8月初旬の午後の暑い中、新旧自治会長を含む6人の方々の歓迎を受け、地区の概要、取り組みの説明、さらに炎天下にもかかわらず区内も案内していただきました。昭和53年の宮城沖地震によるブロック塀倒壊による死傷事故を契機に、ブロック塀から生垣へ安全で緑豊かな街並みづくりに取り組んできた。その経緯について頭では理解できましたが、実際に街並みを拝見して、既存のブロック塀を大きく切り崩し、生垣に再生した住居周りを見て、息をのみました。きちんと積み上げられたブロックの大部分を取り壊す、というのはまさしく言うは易く行い難しの取り組みです。

これは本当に半端ない取り組みであると同時に、地道な努力の成果であることは論を待ちません。そんな街づくりの取り組みは、もちろん災害に対して安全を確保することのみならず、景観の向上、更には生垣にすることで見通しが良くなることから犯罪抑止力の向上にもつながり、いわば一石二鳥ならぬ一石三鳥か。そして、この取り組みは災害時に真価を発揮しますが、それとは別に地域の一体感、さらには地域内のコミュニケーションが円滑になる等の二次的な効果も大きいと思われる。

町会・自治会は、様々な地域活動をする団体の中でも、100%近い世帯が加入して構成している団体であることから、一般的にその活動、運営には必然的に困難さが伴います。さらに、新たな開発による新住民の流入による新旧住民間の意識のズレや、少子高齢化に伴う様々な地域課題など、地区住民が生活する上での様々な問題の解決を求められる場面が多くあります。

もちろん、その多くは行政が担う問題ではありますが、痒いところに手が届くような住民対応を行政に求めても難しいでしょう。加えて、町会・自治会をリードしていく会長等の役員の手不足の問題があります。学校PTA役員の手不足の問題は、昔から永遠の課題として今に至っています。町会・自治会もその運営の難しさや、近年の業務過

剩から、敬遠される傾向も多いと聞きます。

そんな町会・自治会運営の難しさは、高木町も同様でしょう。しかしながら、今回の訪問での丁寧な対応、写真にある新旧会長の表彰状を手にした満面の笑みを拝見して、高木町にその点での課題はないのかもしれないかと、一人合点しました。ありがとうございました。

◆池上まつり 大田区大森生活学校



第17回池上まつり / 大森生活学校クイズコーナー / オリピッククイズを丁寧に説明 / 本門寺五重塔

8月25日(日曜日)、池上本門寺にほど近い池上会館において、池上まつりが開催されました。この祭りには、大田区大森生活学校が毎年参加しており、今回は来年のオリンピック・パラリンピックの東京開催に向けて、オリジナルのオリンピック競技クイズを作成して、子供たちに解いてもらい手づくりの記念品等を贈呈するなど、会員総出で取り組んでいました。パレードあり、ステージあり、各種職人技の披露あり、多様なプログラムの中で生活学校の皆さんも子供たちとふれあい、丁寧な対応が光っていました。暑い中、おつかれさまでした。

◆北区あすか生活学校 見学会



斬新な外観の東洋大学に北区のバスで到着 / 荒川下流河川事務所対策本部 / 知水資料館(アモア)前での記念撮影 / 旧岩淵水門

←案内表示も当然、電子です

8月29日(水)朝、北区あすか生活学校のメンバーを中心に、北区職員3名を含む総勢20名を乗せたバス(北区提供)が、東洋大学赤羽台キャンパスに到着。2017年に使用開始した隈研吾氏デザインの斬新な外観の建物は、情報連携学部が入っている。見学の実現と案内をしていただいたのは、あしたの日本を創る協会の会長で、本学教授・大学院研究科長の花木啓祐氏。未来の情報社会を担う人材育成のため、学内はペーパーレス化され図書館も蔵書もなくすべて電子媒体と聞き、一同驚愕。昼食後、次の荒川下流河川事務所・知水資料館では、九州での豪雨被害があったばかりで関心が高く、職員の丁寧な説明を懸命に聞く。見学した2箇所ともなかなか見る機会がない場所。文字通り学校で学んだかのようなようでした。

【訃報】 東創協副会長、玉川上水の自然保護を考える会生活会議代表の柴 俊男氏が、8月19日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

事務局よりお知らせ メールアドレス登録の生活会議代表(事務局長)の皆様へ

来る10月2日(水)開催の「東京のまちづくりの運動の輪を広げる集い」については、先日、メール送信いたしました。締切は9月20日(金)となっていますので、ご確認をお願いします。また、まだ登録をお済でない方はメールアドレスを事務局まで空メールをお送りください。Eメール tou-asu@netjoy.ne.jp

▽ひとこと 8月も終わり学校も新学期がスタートします。その始業式初日に自殺する子供が多いのを御存じですか。「心と体を傷つけられて亡くなった天国の子供たちのメッセージ」展が8月31日まで、港区にある東京都人権プラザで開かれていました。いじめ、不登校、自殺、こういった言葉が新聞紙上に頻りに登場するようになってから、どのぐらいの月日が経ったのでしょうか。今回の展示にはありませんでしたが、東京都中野区立富士見中学校2年生の鹿川裕史くんが盛岡の駅ビルまで行って自殺したのは1986年、愛知県西尾市立東部中学校2年生の大河内清輝くんが自宅で命を絶ったのが1994年、その後も悲惨ないじめ自殺は跡を絶ちません。この始業式も心配です。いじめ根絶は無理なのでしょうか、少なくとも命を落とさざるを得ない状況から子供たちを救い出すことはできないのでしょうか。学校、保護者だけで解決できないなら、社会全体で救い出さなければいけないと思います。地域の力で何とかできないのでしょうか。今もSOSが発せられています。多くの人たちで、その悲痛な訴えを聞いてあげたいものです。(竜)